

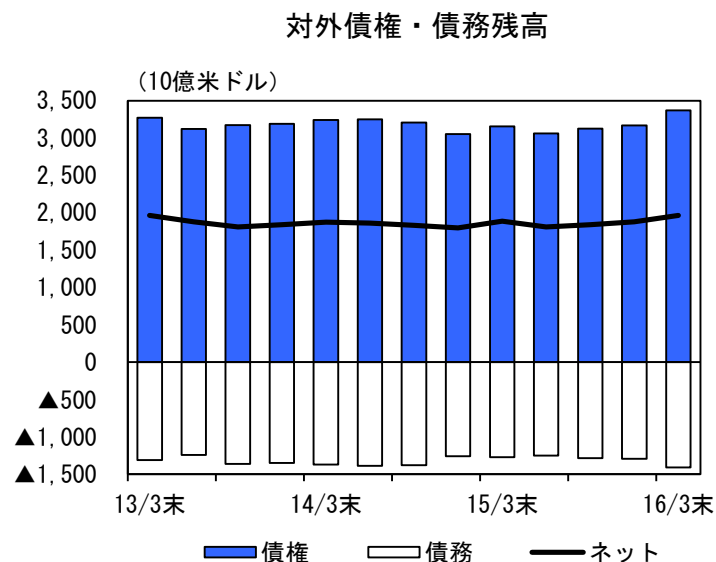
## BIS 国際資金取引統計および国際与信統計の特徴点

(日本分集計結果：2016 年 3 月末)

### 1. BIS 国際資金取引統計

#### (1) 残高

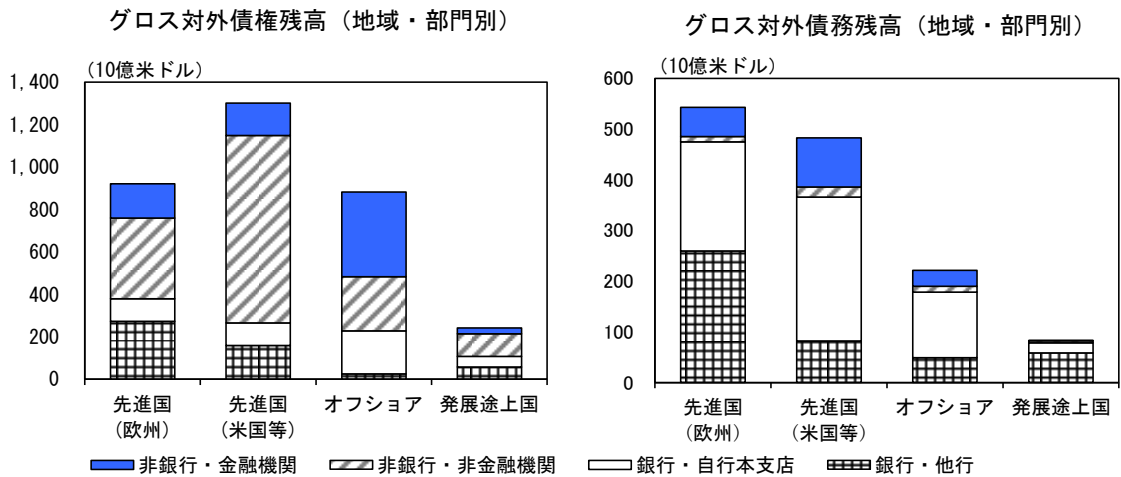
- 2016 年 3 月末の本邦所在銀行のネット対外債権残高は、1 兆 9,624 億ドルとなった。うち、グロス対外債権は 3 兆 3,717 億ドル、グロス対外債務は 1 兆 4,093 億ドルとなった。



(注) 債権はプラス表示、債務はマイナス表示。

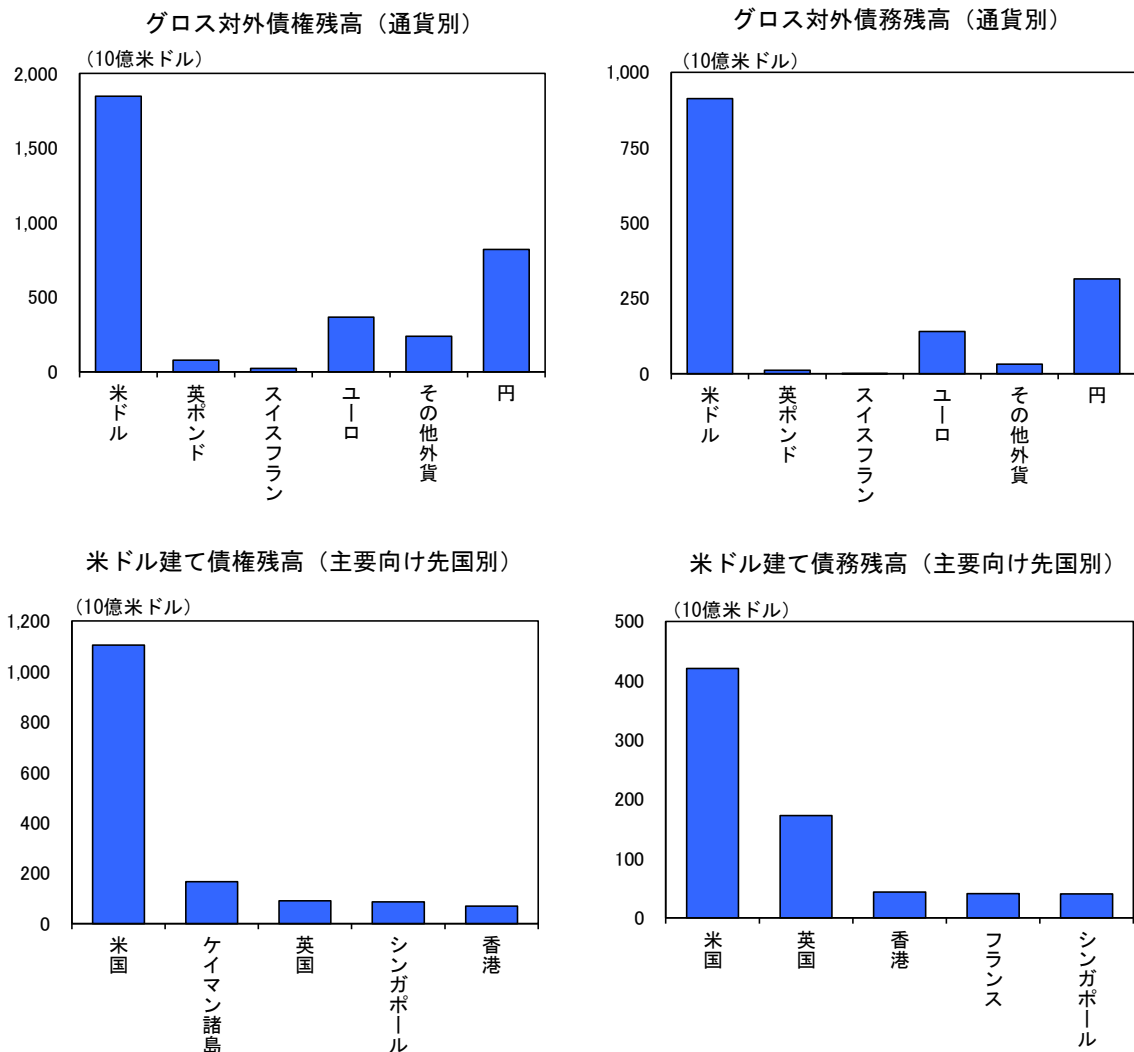
#### (地域・部門別)

- グロス対外債権を地域別にみると、先進国（米国等）向け、先進国（欧州）向けが、それぞれ 1 兆 3,009 億ドル、9,206 億ドルであった。主な地域の内訳部門をみると、先進国（米国等）および先進国（欧州）では非銀行・非金融機関向け、オフショアでは非銀行・金融機関向けのウエイトが高くなっている。
- グロス対外債務では、先進国（欧州）向け、先進国（米国等）向けが、それぞれ 5,424 億ドル、4,824 億ドルであった。内訳部門をみると、全ての地域で銀行部門向けのウエイトが高くなっている。うち、先進国（米国等）およびオフショアでは、自行本支店向けのウエイトが高い。先進国（欧州）では、自行本支店、他行向けともにウエイトが高くなっている。



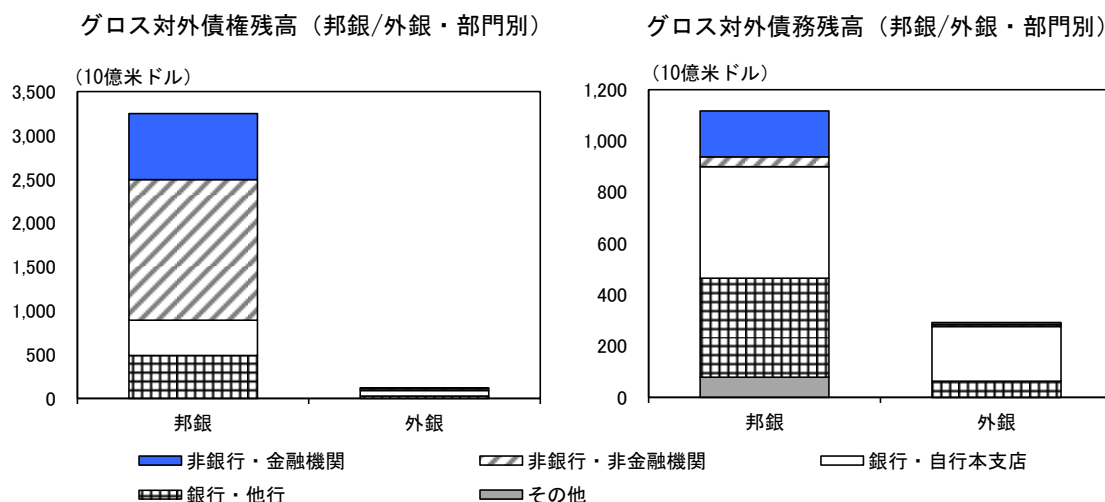
### （通貨別）

- 通貨別では、米ドル建の残高が最大となった（グロス対外債権残高：1.8 兆ドル、グロス対外債務残高：0.9 兆ドル）。さらに、米ドル建債権・債務残高の内訳を国別にみると、債権は米国、ケイマン諸島向け、債務では米国、英国向けの順となった。

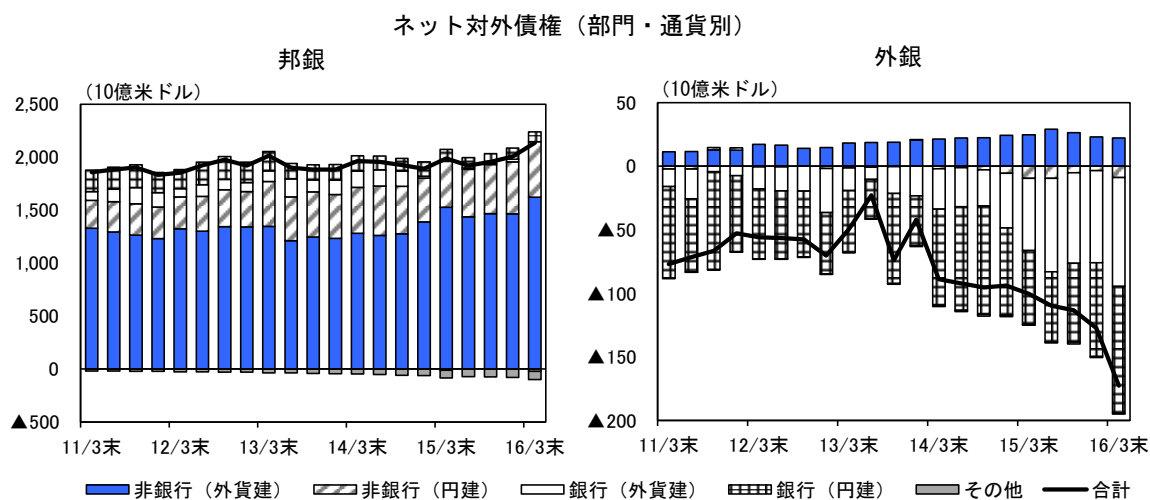


## （邦銀／外銀別）

- ・ 邦銀／外銀別にみると、グロス対外債権残高は、邦銀が 3 兆 2,524 億ドル、外銀が 1,193 億ドルとなった。グロス対外債務残高は、邦銀が 1 兆 1,173 億ドル、外銀が 2,920 億ドルとなった。
- ・ うち邦銀については、対外債権は非銀行向け、対外債務は銀行向けのウェイトが高くなっている。外銀の対外債務は、銀行向けが大宗となっている。



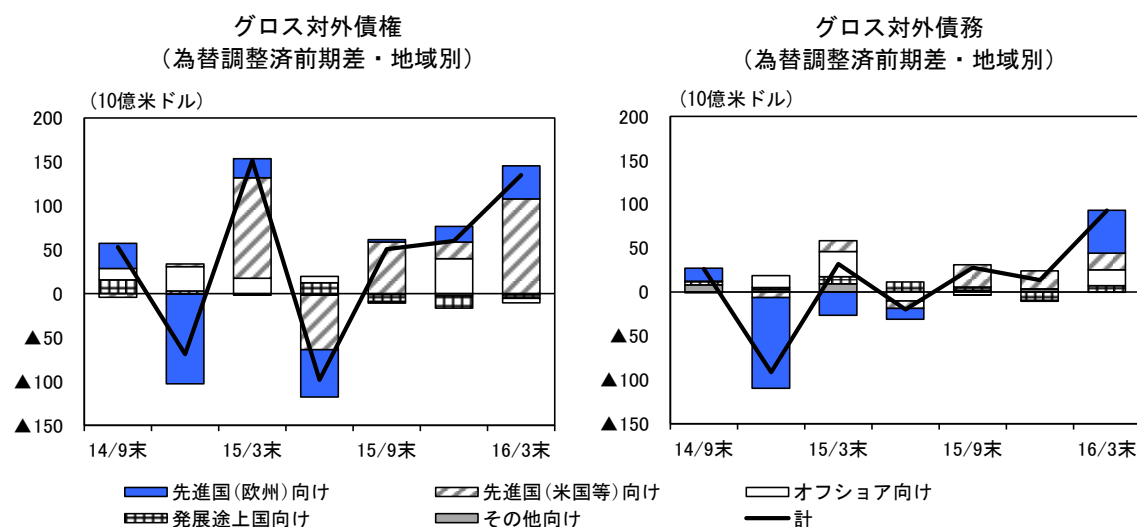
- ・ ネットベースでみると、邦銀の対外債権残高は 2 兆 1,351 億ドル、外銀の対外債務残高は 1,727 億ドルとなった。
- ・ うち外銀のネット対外債務残高は、銀行向けネット対外債務の増加を主因に拡大している。



（注）ネットベースで債権はプラス、債務はマイナス表示。

## （２）前期からの増減

- ・ グロス対外債権は、前期から増加した（為替調整済前期差<sup>1</sup>+1,350 億ドル）。先進国（米国等）向け（同+1,079 億ドル）、先進国（欧州）向け（同+377 億ドル）が増加した一方、オフショア向け（同▲54 億ドル）、発展途上国向け（同▲37 億ドル）が減少した。
- ・ グロス対外債務は、前期から増加した（同+928 億ドル）。先進国（欧州）向け（同+488 億ドル）、先進国（米国等）向け（同+189 億ドル）、オフショア向け（同+183 億ドル）、発展途上国向け（同+72 億ドル）が増加した。



- ・ 主な向け先国別にみると、グロス対外債権は米国向け（為替調整済前期差+1,095 億ドル）、ケイマン諸島向け（同+148 億ドル）が増加、グロス対外債務は英国向け（同+330 億ドル）、米国向け（同+188 億ドル）が増加した。

### グロス対外債権・債務の増減がみられた主な向け先国

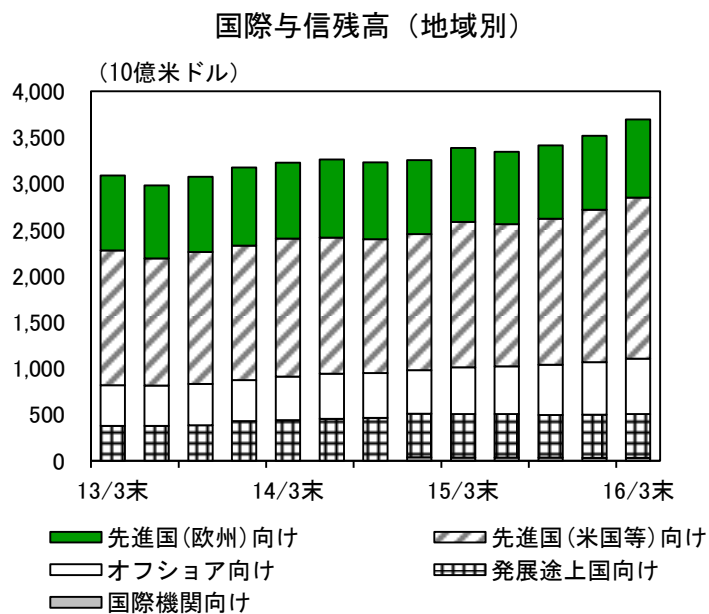
(為替調整済前期差、億米ドル)

	向け先国名	増加	向け先国名	減少
グ ロ ス 債 権	米国	+1,095	香港	▲205
	ケイマン諸島	+148	インド	▲12
	フランス	+117	パナマ	▲10
	英国	+108	オーストラリア	▲9
	ベルギー	+59	カナダ	▲9
グ ロ ス 債 務	英国	+330	スイス	▲22
	米国	+188	パナマ	▲19
	香港	+112	ケイマン諸島	▲17
	シンガポール	+107	パキスタン	▲6
	ベルギー	+72	オーストラリア	▲6

<sup>1</sup> 為替調整済前期差は、原通貨建の残高の前期差を期中平均レートで米ドル建てに換算することにより、主要通貨（円、ユーロ、英ポンド、スイスフラン）の為替レートの期中変動を調整した参考計数。

## 2. BIS 国際与信統計

- 2016 年 3 月末の邦銀の国際与信残高（最終リスクベース）は、3 兆 6,958 億ドルとなった（前期差+1,779 億ドル）。うち、先進国（米国等）向けが 1 兆 7,438 億ドル、先進国（欧州）向けが 8,479 億ドルであった。



- 主な向け先国別にみると、先進国向けでは米国（前期差+824 億ドル）が増加した。オフショア・発展途上国向けでは、ケイマン諸島（同+274 億ドル）が増加した。

### 先進国向け

(前期差、億米ドル)

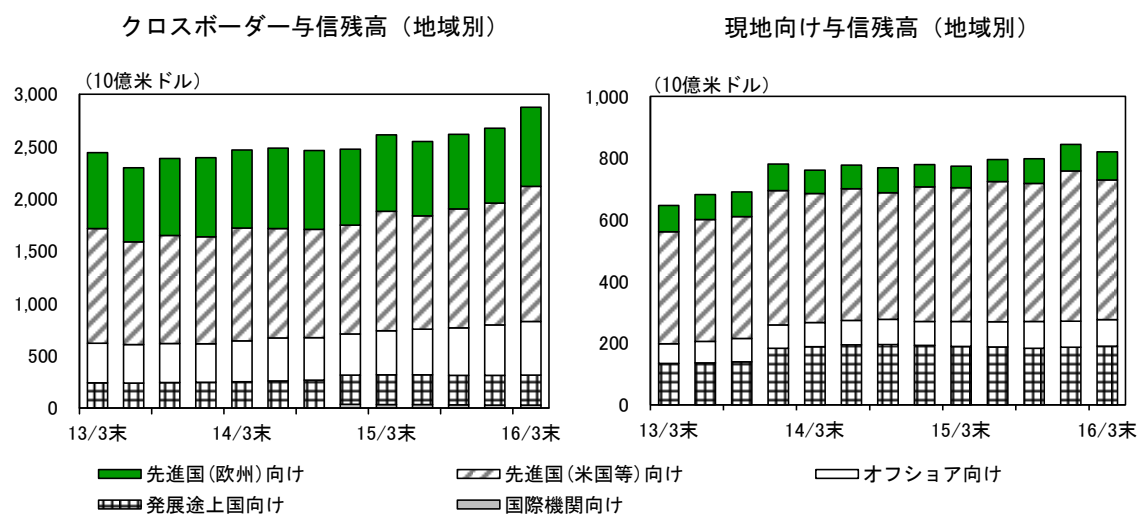
向け先国名	増加	向け先国名	減少
米国	+824	リトアニア	▲1
フランス	+191	ギリシャ	▲1
オーストラリア	+65	スロバキア	▲0
アイルランド	+46	アイスランド	▲0
ベルギー	+44	—	—

### オフショア・発展途上国向け

(前期差、億米ドル)

向け先国名	増加	向け先国名	減少
ケイマン諸島	+274	中国	▲12
香港	+25	ロシア	▲7
マレーシア	+17	タイ	▲7
シンガポール	+16	チリ	▲4
インドネシア	+15	アラブ首長国連邦	▲3

- ・ クロスボーダー／現地向け別にみると、クロスボーダー与信（前期差+2,018 億ドル）が増加した一方、現地向け与信（同▲239 億ドル）が減少した。



- ・ 主な向け先国別にみると、クロスボーダー与信では、米国（前期差+1,203 億ドル）が増加した。現地向け与信では、米国が減少した（同▲379 億ドル）。

#### クロスボーダー与信

（前期差、億米ドル）

向け先国名	増加	向け先国名	減少
米国	+1,203	中国	▲32
ケイマン諸島	+274	ロシア	▲6
フランス	+169	チリ	▲4
アイルランド	+46	フィリピン	▲3
オーストラリア	+35	トルコ	▲3

#### 現地向け与信

（前期差、億米ドル）

向け先国名	増加	向け先国名	減少
オーストラリア	+30	米国	▲379
フランス	+22	タイ	▲28
中国	+20	英国	▲3
マレーシア	+18	台湾	▲2
香港	+17	メキシコ	▲2

以 上

照会先

金融市場局総務課市場統計グループ

Tel：03-3279-1111（内線 2841）

電子メール：post.fmd@boj.or.jp

#### （参考１）BIS 国際資金取引統計（日本集計分）

本統計は、BIS が四半期毎に公表するグローバル・ベース（44 か国・地域）の統計（Locational Banking Statistics）の日本分の集計結果。

- ・ 対象金融機関・・・日本に所在する銀行のうち、特別国際金融取引勘定（JOM 勘定）承認銀行等（外国銀行の在日拠点＜支店・現法＞を含み、邦銀の海外拠点＜支店・現法＞は含まない）。
- ・ 対象時点・・・・・・ 毎四半期末（3、6、9、12 月末）時点。
- ・ 対象計数・・・・・・ 対象金融機関のオンバランス債権債務残高のうち、非居住者向け（円建て・外貨建て）を対象としている。債権債務残高には、信託勘定や、自行海外本支店および海外現地法人との取引残高を含む。
- ・ 部門分類・・・・・・ 公表データは、取引相手先の部門に応じて、銀行（うち本支店）、および非銀行（うち非銀行金融機関）に区分されている。

#### （参考２）BIS 国際与信統計（最終リスクベース：日本集計分）

本統計は、BIS が四半期毎に公表するグローバル・ベース（31 か国・地域）の統計（Consolidated Banking Statistics）の日本分の集計結果。

- ・ 対象金融機関・・・日本に本店を有する銀行のうち、特別国際金融取引勘定（JOM 勘定）承認銀行等。
- ・ 対象時点・・・・・・ 毎四半期末（3、6、9、12 月末）時点。
- ・ 対象計数・・・・・・ 対象金融機関（連結ベース）の国内本支店および海外拠点（支店・現法）のクロスボーダー与信残高、海外拠点（支店・現法）の現地向け与信残高を対象としている。ただし、信託勘定を含み、国内外の自行拠点向けの債権を含まない。
- ・ 与信の分類・・・・・・ 与信（非居住者向け債権）は、保証や担保を勘案した最終的なリスクが所在する地域・国別に区分され、例えば、英国現法向け与信に対して米国の親会社が保証を行っている場合、当該与信の最終リスクは米国に区分されている。

なお、現地向け与信には、海外支店・現法が実行する与信のうち、当該拠点が所在する国の債務者向け、かつ最終リスクも同国内向けであるものを計上している。